

退職者 NO.136

こだま会報



発行日：2022年5月15日／季刊第136号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://tekuteku.jeez.jp

「麻生川の桜と浄慶寺の
 五百羅漢をめぐる」に参加して

3月30日、てく・テクの会のお花見に
 テクの会のお花見に 和だった。
 参加した。 良く絶好のお花見日
 小田急線柿生駅に 羅漢の表情に
 10時35分に集合、参 ならびに
 加者は18名、天気も なごむ

駅から商店街を抜



麻生川の桜

「てく・テクの会」

浄慶寺に着
 け10分ほどで
 浄慶寺に着
 1615年に
 開山し境内に
 は千本を超え
 る紫陽花が植
 えられ紫陽花
 寺とも呼ばれ
 ている。
 寺内は起伏
 があり、通路
 のあちらこち
 らに羅漢像
 (羅漢とは悟
 りを開いた
 者)が置かれ
 ている。門前
 にはマスクを
 してミシンを
 踏む羅漢、顔
 を寄せあい談
 笑する羅漢、
 お酒を飲む羅
 漢など。羅漢
 像はお寺の知
 り合いの石材業者が
 作製しているとい
 う。
 境内には桜の木だ
 けでなくミツバツツ
 ジ、足元にはスマレ
 (2面へ続く)

神奈川県職労連 退職者こだま会 第38回定期総会のご案内

—会場は昨年と同じ「かながわ労働プラザ」です。懇親会は行いません。—

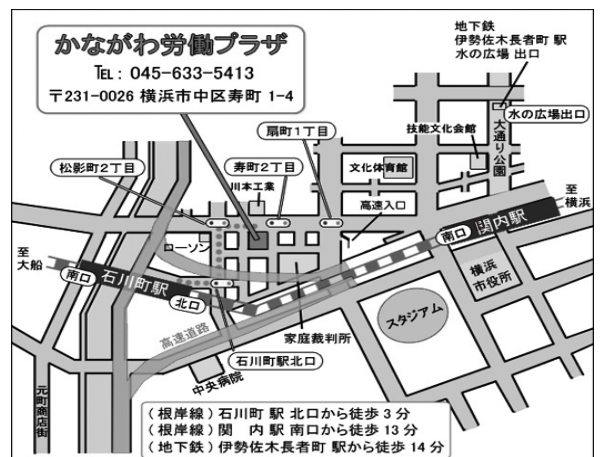
会員の皆さんいかがお過ごしでしょうか。「新型コロナウイルス」による感染は、第3回目のワクチン接種が進み、ひとまず減少しましたが、再び増加の兆しもあり、終息は依然として不透明な段階です。

総会に大勢の会員が集い、交流できることを願って、感染防止への配慮をしながら第38回定期総会を下記の通り開催します。ただし、ウイルス感染拡大により、施設使用が不可能になった場合には、書面表決を行うこととします。

- とき** 6月24日(金)10時受付 10時30分開会～12時30分閉会
- ところ** かながわ労働プラザ4階(第3会議室)
(JR関内駅徒歩13分 石川町駅徒歩3分)

〈総会開会にあたってのご注意〉

- 書面表決を行う場合は、その旨をこだま会ホームページ(<http://tekuteku.jeez.jp>)に掲載し、「総会参加」と回答された会員には、個別に連絡するとともに、会員の皆さんに改めて、議決のための往復ハガキを送付します。
- 「3密」を避けるため、恒例の懇親会は行いません。総会参加者には食事代を用意します。
- 出欠は、同封のハガキを6月9日(木)までをお願いします。



*お知らせ…こだま会の事務所は県庁本庁舎地下1階です。毎週火曜日、10時～16時に開所しています。

予告!! 予告!! 予告!!

- 19日国会行動 (毎月)
 - とき: 5月19日(木) 18時30分~
 - : 6月19日(日) 14時~
 - : 7月19日(火) 18時30分~
 - : 8月19日(金) 18時30分~
- 集合場所: JR新橋駅S L広場
- 集合時間: 17時30分 (6月は13時)
- 歴史教室 (散策)
 - とき: 5月26日(木) 9時45分
 - JR鎌倉駅東口改札集合
- テーマ: 「北条氏」関連の歴史散策 (鎌倉を巡るシリーズ第2回目)
- 詳細: 同封のチラシ参照
- 県職員9条の会総会 & 学習会
 - とき: 6月11日(土)
- 詳細: 同封のチラシ参照
- 第38回こだま会定期総会
 - とき: 6月24日(金) 10時30分開会 (10時受付)
- 場所: かながわ労働プラザ第3会議室 (4階) (JR石川町駅徒歩3分)
- 俳句サークル「こだま句会」
 - 月例会句: 毎月第2木曜日13時~16時
 - 申込先: こだま会事務局へ
 - ☎ (045)212-3179
- てく・テクの会1泊バス旅行
 - テーマ: 「伊豆ジオパークと鎌倉北条氏ゆかりの地を訪ねる旅」
 - とき: 9月29日(木) ~30日(金)

お悔み申し上げます
 2月15日以降に事務局に連絡があった、亡くなられた会員です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
 (一)内は享年。
 大菊 勇 (90)
 加藤富美江 (87)
 木元 陽子 (71)
 小金井昭司 (89)
 四方 徹 (82)
 情野 勝 (76)
 林 亮一 (85)

(1面からのつづき)
 の花も咲いていた。
 寺内の高台から見渡すと桜の木やお寺、遠くに街並みも見えた。参加者は人間臭い羅漢の表情になごみ、花の美しさ、春の暖かさを楽しんだ。
満開の桜を楽しむ
 山を下り麻生川に行く途中コンビニに寄り小休止。トイレに行く人、アイスを食べる人。
 すぐに麻生川に着く。麻生川は鶴見川の支流で両岸に250本の桜が植えられている。桜は満開となり川面に桜の花びらが浮かんでいる。誰かが花筏だと話していた。
 桜は散つても美しいとの言葉もある。それぞれが写真を撮ったり撮られたり、40分ほど歩きながら花見を

楽しみ、新百合ヶ丘駅に到着した。途中歩道でお弁当を食べる家族を見かけた。新百合ヶ丘駅周辺は大きな街だがそんな気配が感じられない街歩きだった。
自分の楽しみ方で春を満喫
 初めてこだま会の催しに参加したが、久しぶりの団体行動だった。短い時間だったので参加者の名前が一致せずあまり話もできなかった。それぞれ自分の楽しみ方で春を満喫していたと思う。
 味のある企画・案内をしてくれた瀧本さんほかスタッフに感謝します。
 (小林初枝)

神奈川県職員 9条の会
「平和のつどい&総会」
 6月11日(土) 13時15分受付 13時30分開会
 横浜市技能文化会館802大研修室 (JR根岸線「関内駅」南口から徒歩5分)
 総会 活動報告 (13時30分~)
 講演 「改憲の新局面とどう立ち向かうか」 ~ウクライナ侵略に便乗した9条改憲を許すな~ (仮題) (14時30分~)
 講師 渡辺 治 (一橋大学名誉教授)
 資料代 500円



浄慶寺の五百羅漢

おすすめの本



朝鮮料理店・産業「慰安所」と朝鮮の女性たち

高麗博物館朝鮮女性史研究会編著 社会評論社刊 2021年 2750円



ボランティアで展示説明する渡辺さん

戦前、朝鮮半島から過酷な日本の植民地支配のため、多くの朝鮮人が日本にきた。それに合わせて書名にあるように、「朝鮮料理店」(朝鮮人酌婦が神奈川県でも多く存在)や産業「慰安所」と呼ばれる施設が存在した。これは1938年以降、戦時体制の中で、炭坑やダム建設現場、土木工事、鉄道敷設工事などに、強制的に朝鮮人労働者(男性)が動員され、その朝鮮人労働者に対し「性的に慰安する朝鮮人女性たち」が集められた施設「だった。軍「慰安所」と同様に日本の国策として朝鮮人女性が性搾取されていた。本書は5年かけて朝鮮女性史研究会のメンバーが完成させた。私はそのひとりである。朝鮮料理店も産業「慰安所」も証言者はなく、私たちは手弁当で北海道から長崎県まで8カ所のフィールドワークを行い、郷土研究者や朝鮮史研究のグループにお世話になった。(渡辺泰子)

神奈川県 退職者こだま会第38回定期総会議案

〈第1号議案〉

2021年度経過・会計報告
(2021年4月～2022年3月)

この1年間の活動

長引く新型コロナウイルス感染拡大により、こだま会活動に影響が出ました。

1 第37回総会

昨年6月25日、感染防止対策をとり、かながわ労働プラザでリアル開催(33人)をすることができました。しかし、長寿会員の懇親会への招待は2年連続できませんでした。

2 交流の場と仲間づくり

(1) こだま会文化レク企画「てく・テクの会」

コロナ禍の中で、9月30日～31日実施予定の「群馬・草津方面バスツアー(ハンセン病関連施設、八ッ場ダム、高崎古墳群)は会員の健康を守るためにやむなく2年続けての中止となりました。

日帰り企画では、「麻生川の桜と浄慶寺の五百羅漢をめぐる」(3月30日、18人)を実施しました。

(2) 「趣味の会」のとりくみ

各会ともコロナ禍の中、感染対策を配慮しながら活動しました。

① 歴史教室(講義・散策)

歴史散策は、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にちなみ、10月28日に「北条氏関連・鎌倉散策パート①」(14人)

を開催しました。

② 俳句サークル「こだま句会」

毎月第2木曜日の定例会はコロナ禍で集まれないときは、通信句会を実施し(6回)、句会を継続しました。俳人協会の太田土男先生の指導のもと、それぞれ4句を提出し、研鑽に励んでいます。

③ 健康教室

3月16日に予定していた健康教室(石川体操の実技と交流)は、まん延防止等重点措置の期間中のため延期となりました。

④ 料理教室

コロナ禍で、施設使用ができず、実施できませんでした。

3 福利厚生活動

(1) 長寿祝い制度

2021年4月1日現在77歳の44人が対象で、お祝いのギフトカードを贈りました。

(2) 共済・保険・人間ドック事業

火災共済などの共済事業に加え、2014年度から「人間ドック」事業を導入、定着と事業の拡大に努力し、今年度も県内4医療機関で実施しました。安く利用できる喜びを分かち合っています。

4 高齢者が安心して暮らせる社会へ

「75歳以上の医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名」(87筆)と「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守る

ための」国会請願署名(返信用はがき)にとりくみました。

5 県民本位の県政をめざして

県民連絡会や地域の自治研活動など県民要求実現に向けた運動に会員がかかわっています。

県職員へのパワハラ・過労自死裁判は、昨年勝利和解し、オンライン報告会に会員が参加しました。

6 いのちとくらし、平和と民主主義を守る運動

(1) 「戦争法」の廃止を求める行動

2015年9月19日の「戦争法強行採決」以降、「総がかり行動実行委員会」が呼びかける19日国会行動等に毎月参加、コロナ禍でも当会から毎回6人前後の会員が参加しています。また、2月24日から、ロシア軍によるウクライナへの侵略が始まり、各地での「戦争NO!」の行動に会員が参加しています。

(2) 憲法改悪反対のとりくみ

神奈川県職員九条の会と連携し、新たに「憲法改悪許さない全国署名」の取り組みをはじめました。

(3) 民主団体(上部団体含む)との連携

① 全国自治体退職者会連絡会、神奈川県自治労連退職者会、神奈川県高年齢運動連絡会に役員を送り、諸行動に参加しました。

② 全国自治体退職者連絡会総会(書面表決)。

③ 神奈川県自治労連退職者会総会(10月20日、10人)

④ 「高齢者大会 in 長野」(9月23日、

4人)にオンライン参加しました。
7 「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会主催)
コロナ禍により、2年間開催できませんでした。

8 会報・ホームページなどの充実
会報編集委員会は8人体制で企画・編集を行い、新しい書き手の発掘など紙面の充実にとりくんでいます。『会報』は年4回定期発行しました。総会報告掲載号の『せいかつ短信』は、178人の声が掲載され、

会員相互の情報交換の場として活用されています。コロナ禍で行事等が中止となる中、会員からの投稿募集を行うなど紙面の充実に努めました。ホームページは、行事予告の迅速な更新と内容の充実に努力しています。

9 会員の拡大と会の運営

(1) 会員の拡大
2022年3月末現在の会員は1225人。新規加入者は18人(永年会員14人、年会員4人)。

組織強化を重点に位置づけ、退職者説明会(今回は資料配布のみ)や支部の協力、再任用退職者名簿の活用、会員同士のつながり・声かけ等にとりくみました。

(2) 会の運営

毎週火曜日(10時～16時)に事務局員が交代で事務作業をし、四役・事務局会議(月1回)、幹事会(5回)を開きました。役員全員が専門部や趣味の会に所属し、運動の活性化をはかりました。

2021年度 一般会計収支報告

(2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

Table with 2 main sections: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Each section has columns for 項目 (Item), 予算額 (Budget), 収入額/支出額 (Amount), and 摘要 (Summary). Total income is 2,702,273 and total expenditure is 2,702,273.

2021年度 積立金会計収支報告

(2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

Table with 2 main sections: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Each section has columns for 項目 (Item), 予算額 (Budget), 収入額/支出額 (Amount), and 摘要 (Summary). Total income is 15,742,897 and total expenditure is 15,742,897.

〈第2号議案〉

2022年度活動方針(案)

1 私たちをとりまく情勢

1 国民のくらしと国政の動き

(1)岸田政権の誕生と悪政の継承
10月4日、総裁選で「新しい資本

主義・新自由主義からの転換」を掲げた岸田内閣が誕生しました。しかし、掲げた「富裕層優遇の金融所得税の見直し」は見送り、消費税減税は拒否、20万病床削減や公立公的病院の統廃合の推進など社会保障の切り捨てを継続しています。成長と分配の好循環」の実体は、「成長のための分配・人的投資」=新自由主義そのものです。今政府に求め

られているのは、低成長でも増え続ける内部留保や富裕層の富への課税強化などによる労働者の賃上げ・弱者救済のための分配であります。また、森友事件はじめ数々の政治疑惑、日本学術会議への人事介入や公文書・統計改ざんについては幕引きを図ろうとし、さらに、ロシアのウクライナ侵略を利用し、日本維新の会などの与党補完勢力の力を借りて、軍事費拡大、敵基地攻撃能力、憲法9条改憲など、「戦争する国づくり」にまい進しようとしています。核兵器をめぐっては、プーチンの核威嚇に乘じて、安倍元首相や維新の会などが、米国の「核共有」論を持ち出していることは大問題です。唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶の先頭に立ち、核兵器禁止条約への参加を政府に求めるとりくみを強めることが必要です。東日本大震災から11年を迎えた今も、3万8千人以上が避難生活を送

会計監査報告

会計監査報告

2022年4月12日

神奈川県職労連退職者こだま会
代表幹事 加瀬 文隆 様

2022年4月12日、こだま会事務室において2021年度一般会計及び2021年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、収支証拠書類、預金通帳などの監査を実施したところ、適正に執行されていたことを認めます。

会計監査 三村義弘
会計監査 青沼慶祐

り、原発事故の収束の目処も立っていないのにも関わらず、支援策の縮小・打ち切りを行なっています。そして政府は、昨年4月には地元合意が無いまま汚染水処理水の海上放出を決定しました。さらに、国民世論に背をむけ原発再稼働と新型原発開発を進めています。衆議院選挙結果を受け、国民民主党が政府予算案に賛成するなど政権与党にすり寄っています。7月の参議院選挙に向けた立憲野党の候補者調整が始まりましたが、自公政権の悪政転換のためには、市民と立憲野党の共同の闘いを発展させることが求められています。(2)新型コロナウイルスで明らかにした新自由主義による資本主義の矛盾と地球環境、公助の重要性
2020年1月に日本で初めて新型コロナウイルス感染症患者が確認されてから3年目に入りました。この間、ワクチンの開発や新薬の開発が異例のスピードで進められ、感染拡大の抑制や、重症化防止に大きな役割を果たしてきました。しかし、感染拡大を通じてウイルス自身も変異を繰り返し、いまだ人類はこのウイルスとの闘いの真ただ中にいます。感染症との闘いは医療体制と同時に公衆衛生上の施策が重要であり、この2つの施策を着実に推し進めることが求められています。3月21日でまん延防止措置が解除されましたが、感染確認者数・死者数とも増加の兆しを見せ、第7波の

到来が現実味を増しています。

WHOが検査、追跡、保護隔離対策を強調し、多くの先進国が無症状者も感染源になることからPCR検査を重視してきました。しかし日本政府は、この間PCR検査の拡大を抑制し、成り行き任せの対応に終始してきたといえます。また、3回目のワクチン接種の遅れは、第6波での大幅な感染拡大・高齢者の重症化を招き、死者数は1万人を超え、第5波の約4倍にもなっています。さらに、保健所体制やPCR検査体制の強化、水際対策、全ゲノム解析による新たな変異の確認などの対策が十分取られてきませんでした。

全国知事会も、「オミクロン株の迅速な検知に向けた検査体制を早急に整備すること」PCR等検査の無料化については、自治体が必要とする体制整備に要する経費及び検査費用を全て国が負担することなどを国に要望しています。

コロナ禍で医療・介護崩壊、事業と雇用の危機、困窮の広がりがより一層顕在化しています。感染拡大防止策を徹底するとともに、中小零細企業や労働者・国民への生活・営業支援が必要とされています。

根本的には、新自由主義的政策を転換し、医療・介護・保育などケアに手厚い社会、貧困や格差の拡大、ジェンダー差別、地球環境破壊をストップさせる社会に変えていくことが求められています。

(3) 不十分な新型コロナ対策、軍事

費増大・社会保障切り捨ての21年度補正及び22年度政府予算

2022年度政府予算は一般会計総額107兆5964億円と過去最大、21年度補正予算35兆9895億円と合わせて「16ヶ月予算」と位置付けています。しかし、コロナ対策では、検査、医療体制や保健所体制強化などの対策や困窮する事業・家庭への支援策も不十分な一方、軍事費は8年連続過去最大、補正予算でも7354億円と過去最大の上乗せする大軍拡予算となっています。社会保障関係では、75歳以上の医療費2割負担、診療報酬削減などにより自然増分を2200億円削減するとともに、年金給付を0.4%削減しています。

円安と原油価格等の値上げにより、輸入小麦17.3%、電気・ガ料金をはじめ多くの生活必需品が4月に一斉値上げされました。さらに、ロシアのウクライナ侵略の影響は秋口になると言われています。

低所得者ほど負担が大きいかからも、消費税率の引き下げをはじめとする支援策が急がれます。また、景気対策の面からも労働者の大幅賃上げ、最低賃金・年金の大幅引上げが重要です。

2 神奈川県政をめぐる動き

(1) 黒岩県政の新型コロナ対策と21年度補正及び22年度予算

新型コロナウイルス対策では、「神奈川県モデル」を連発してきましたが、その実態は、国の交付金の枠内での

対策を基本に、独自の医療体制の整備を付加するというものです。保健所などの体制の抜本強化や検査強化に積極的にとりくんでこなかったために、感染拡大時には「重点化」「効率化」の名の下に「なすべきことを諦め、放棄せざるを得なかった」と典型的な自治体の一つであったといえます。第6波では、発熱外来等の逼迫を理由に、感染症防止法上の諸規定を棚上げし、「自主療養制度」創設、「食糧支援」の対象絞り込み、保育園の開園・濃厚接触者認定を行わないことを迫るなど、感染源対策を放棄する惨事便乗型の「自己責任」政策をとってきました。

国を先導し「積極的疫学調査」を諦める阿南統括官の「感染蔓延期における『濃厚接触』に関する作戦転換」提案に対し、和歌山県知事は、「かつて、旧日本軍は敗北や退却のことを『転進』という言葉で飾った」と痛烈に批判しています。

黒岩県政が進めてきた4保健所の支所化の本所復活や衛生研究所の体制強化など、感染防止対策体制の抜本見直しこそ求められています。

過去最大規模となった2022年度予算(2月補正含む)の特徴は、岸田内閣の新自由主義、成長優先主義予算の県政への持ち込みと言えものがほとんどです。政府国庫支出金での県民生活を支援する予算も盛り込まれましたが、独自性は「未病」ロボット「特区」関連が中心であり、コロナ禍で生存権が脅かされている

人々への支援・子育て支援や脱炭素社会に向けた施策の抜本強化などの施策が不十分であり、積極的な対応が求められています。

(2) 県職員をめぐる状況

新型コロナ感染症対策31名増、児童虐待防止25名増(内、22名は法定分)、豚熱・鳥インフルエンザ対策5名など過労死ラインを超える長時間労働が続いた職場への人員増要求に一定応えるものとなりましたが、新型コロナ感染症対策の増員は、本庁配置が中心で保健福祉事務所は少数にとどまっています。県立病院機構では、病院労組の要求で「妊娠準備率」を踏まえた新たな看護師の必要配置数見直しが実現しました。

こだま会も支援してきた「過労死裁判」が、昨年10月勝利和解しましたが、引き続き不払い残業、パワハラ根絶、長時間労働解消など働き方改革・職場環境改善が課題となっています。

来年4月には知事選挙があります。県職労連と連携し、県民本意の県政実現に向けてとりくんでいきます。

II 活動の基本と計画

2022年度の活動は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、以下の計画を実行していきます。

1 交流の場と仲間づくり

(1) こだま会企画「てく・テクの会」バスツアーについては、「伊豆ジオパークと鎌倉北条氏ゆかりの地を訪ねる旅」を9月29日から30日(一

第3号議案 2022年度予算案

2022年度 一般会計予算(案)

(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			
項 目	予算額	前年度予算額	摘 要
年会費	75,000	90,000	3,000円×25人
終身会費	300,000	300,000	25,000円×12人
県職労連交付金	300,000	470,000	
共済助成費	1,100,000	1,150,000	全労済事務 取り扱等
雑収入	50,000	50,000	県退職者会 からの行動 費・利息等
繰入金	400,000	0	積立金会計 より
寄付金	20,000	20,000	総会祝金・ 利息等
前年度繰越金	413,744	803,491	
合計	2,658,744	2,883,491	

支 出			
項 目	予算額	前年度予算額	摘 要
事務局費	320,000	320,000	運営費
行動費	200,000	250,000	高齢者大会・自治 労連関連・手作 文化祭経費等
会報費	1,000,000	1,100,000	会報発行費
総会費	130,000	130,000	総会経費
会議費	300,000	300,000	幹事会・事務局会議等
通信費	30,000	30,000	郵送料・振替手数料
長寿祝い等	198,000	135,000	対象者66人 (3000×66)
負担金	60,000	60,000	県退職者連絡会・ 手作り文化祭
繰出金	300,000	300,000	積立金会計への 繰出(終身会費)
予備費	120,744	258,491	
合計	2,658,744	2,883,491	

2022年度 積立金会計予算(案)

(2022年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			
項 目	予算額	前年度予算額	摘 要
前年度繰越金	15,392,731	15,392,731	
繰入金	300,000	350,000	一般会計より 終身会費 収入分
利息	600	166	
合計	15,693,331	15,742,897	

支 出			
項 目	予算額	前年度予算額	摘 要
繰出金	400,000	0	一般会計長 寿祝金等
繰越金	15,293,331	15,742,897	
合計	16,693,331	15,742,897	

泊二日)に実施します。また、「グルメと名所めぐり」「お花見ハイキング」等を実施します。
 (2)「趣味の会」
 「俳句サークル・こだま句会」、「歴史教室」など、会員の趣味を生かした活動を応援し、充実をはかります。また、「料理教室」は会員の協力を得て実施していきます。
 (3)仲間づくり
 会員の提案を積極的に受け止め、既存の趣味の会のほかにも交流の場を増やし、楽しく実りある活動にし

ていきます。
 2 福利厚生活動
 (1)長寿祝い制度
 対象者は77歳(1944年4月2日~1945年4月1日生まれ)の66人。お祝いのギフトカードを贈ります。(今年度は、コロナ感染防止の点から懇親会は行いませんので、これまで招待できなかった2020年度、2021年度の対象者とともに来年度招待することとします)。
 (2)共済・保険・人間ドック
 有利で安心な火災共済、自動車共

済、がん保険などの保険事業や人間ドック事業にとりくみます。
 (3)健康教室
 高齢期を元気に過ごすため、看護師などの専門家を講師として、講義や体操などの健康教室を開催します。
 (4)相談活動
 神奈川県職労連と連携して法律相談などにとりくみます。
 3 高齢者が安心して暮らせる社会へ
 医療・福祉・介護・年金制度の改善反対や消費税減税、脱原発、新型コロナウイルス対策などの課題については、全国自治体退職者会連絡会厚労省交渉への参加、「日本高齢者大会」「輝け高齢期かながわのつどい」などの集会や学習会に参加するとともに、会員に署名などを呼びかけます。
 4 県民本位の県政をめざして
 (1)県民サービスを低下させる民営化などの「行革」反対、新型コロナウイルスの感染拡大で表面化した保健所不足、新型コロナウイルス病床不足解消などの県民要求の実現に向け、県職労連や県民連絡会と連携し、会員による地域や団体でのとりくみを支援します。
 (2)県職員へのパワハラ過労自死裁判については、裁判の勝利和解を受けて引き続き、県庁組織の長時間労働・パワハラ防止に向けた県職労の活動を応援します。
 (3)2023年4月に行われる神奈川県知事選挙にあたっては、争点や政策などについての広報活動に努めます。
 5 いのちとくらし、平和と民主

義を守る運動
 (1)「戦争法」の廃止を求める行動など
 毎月19日の国会行動など、「戦争法」の廃止を求める行動に会員の参加を呼びかけ、こだま会として積極的に参加します。
 また、ロシアによるウクライナ侵略に断固反対し、抗議集会への参加などを会員に呼びかけます。
 (2)憲法改悪反対のとりくみ
 9条改憲など憲法を改悪する目論見に対して、神奈川県職員九条の会等と連携してとりくみます。また、憲法集会に引き続き参加します。
 (3)民主団体等との連携
 全国自治体退職者会連絡会、神奈川県自治労連退職者会、神奈川県高齢期運動連絡会などの民主団体と協力して運動に参加します。
 6 「手づくり文化祭(神奈川県自治労連退職者会主催)」への参加
 手づくり文化祭は、毎年10月下旬に開催され、会員の趣味の発表の場であるとともに、他の退職者会との交流を深める場でもあります。多くの会員が出演、出品、見学できるように会報等で周知し、積極的な参加を促します。
 7 会報、ホームページの充実
 (1)こだま会報
 5月・8月・11月・2月の定期発行を守り、会員が主人公の楽しくわかりやすい紙面を追求します。
 (2)ホームページ
 イベント情報や行事の報告などを

◆今回の歴史教室は「鎌倉を巡るシリーズ第一回」として「鎌倉浪漫、幕府跡を訪ねる」でしたが、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」とも時宜のあった企画です。今後、何回か続くのでしょうか。かつて鎌倉市内で5年余勤務し



会員の広場



◆昨年（2021年）のオリンピック、パラリンピックでも元気をもらいましたが、冬季オリンピックも感動の毎日でした。老骨に鞭打ちががんばらねば！

石田啓子（横浜）

◆カーリングを回答にすると、さすがこだま会！今話題の競技ですね。

廣田 茂（秦野）

◆コロナ禍での生活、何かと不自由で大変です。3回目のワクチン接種を済ませ、何とかコロナに感染せず元気に乗り越えたいと思っています。

茨木三智夫（厚木）

迅速に更新し、会員が気軽に身近な話題や写真の投稿ができるようサイトの充実を図ります。

8 会員の拡大と会の運営

(1) 会員の拡大

カラー化した加入案内リーフレットを活用し、県主催の退職予定者説明会や県職労連の「退職者の集い」などで加入を呼びかけます。また、県職労連の機関紙に入会案内を載せるとともに、再任用や管理職退職者等にも案内を送り入会を促します。

さらに、会員に「こだま会魅力アップアンケート」を行い魅力ある活動の幅を広げます。また、会員の知人に入会案内を送るとりくみを進めます。

(2) 会の運営

毎週火曜日（10時～16時）を軸に事務作業を行い、四役・事務局会議を概ね月一回開催し、幹事会を「会報発送日」などに開催します。

た身には、この度の「歴史教室」の内容は興味津々です。鎌倉時代に起きた「承久の乱」（1221年）は、後鳥羽上皇が鎌倉幕府打倒で挙兵した「乱」ですが、当時の第2代執権であつた北条義時が打ち勝ち、源頼朝以来の本格的な武家政権幕府の基礎を築くことになりました。今後に期待しています。

榎田富久子（横浜）

クロスワードパズルで頭の体操

◇応募要領◇

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできる文字は？
- ②回答送付先：〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、6月15日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品：正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表：次号（8月15日号）

前回の答「カーリング」

ヨ	ー	グ	ル	ト	
カ		ロ		ミ	ソ
	リ	ー	マ	ン	
サ	ン	ブ	ツ		フ
イ	ゴ		リ	ト	ウ
フ	ス	マ		キ	フ

答

	A	B	C	D	E
1	2	3	4		
5					6
		7		8	
9	10			11	
12			13		
			14		

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

- タテのカギ
- 1 楓や葛は山の麓の○○○○○
- 2 ○○ソク
- 3 原子番号23、元素記号V
- 4 深夜○○○は重労働
- 6 物事を強引に素早く処理する人
- 7 運動会の○○○演習
- 8 ブナ科の常緑高木
- 9 石のおおきなもの
- 10 お土産店での会話「○○○の袋必要ですか？」
- 11 調子は○○○○だ
- 12 足に履くもの
- ヨコのカギ
- 1 日本を代表する花のひとつ
- 1 チェコから分かれた東欧の国
- 5 山などで災難にあうこと
- 7 主として机の上で仕事をする部屋

●当選おめでとう●

抽選で次の5人の方にクオカードを進呈しました。（敬称略）茨木三智夫、廣田茂、石田啓子、清水勝紀、吉田綾子

◆年が明けても寒い日が続いていきます。私ごとですが1月はじめに腰を痛めました。ギックリ腰です。腰椎の湾曲もあり、又、骨粗鬆症もあり回復しません。脊損にならないように転倒に留意した生活をしていきます。皆さんも腰を大事にしてください。

湯川 勉(二宮町)

◆今年にはUターン10年のうちで最も寒い冬でした。3月6日の積雪は約2mです。2月の寒波で、一晩に1mも積もった水分の多い雪に耐え切れず、物置の屋根の雪割(切妻屋根の頂点に、屋根と一体に設置し、雪を左右に分割して自然落下させるための、高さ50cm、底辺40cm程の二等辺三角形の雪国特有の突起)が損壊しました。水漏れの恐れがあるので、工務店が晴れ間を見て修繕に来てくれました。12月からの落雪で、地面から4mも軒まで積みあがった雪が足場代わりになり、その分作業が早く終わりました。

山本秀実(長野県飯山市)

◆ロシアのウクライナ侵略には怒りを感じました。すべての国には、それぞれの自決権があるはずで、自国の意に沿わないと、武力行使をして他の国を従わせることは許されま

せん。また、軍事同盟がはたして平和をもたらすものかも疑問を感じました。

佐藤榮一(静岡県富士宮市)

◆冬季五輪が終わるのを待ち構えていたと思えるロシアの暴挙、世界での非難も受け入れず恫喝するプーチンのやり方は許せませんね。

作中 宏(横浜)

◆良い年になくれと迎えた2022年。コロナ禍収束せず。ロシアのウクライナ侵攻→早く平和に。ツアーを申し込んでも催行中止の返事。昨年願っていたこと、まだほとんど実現していません。

ワクチン 3回目接種済み
桜の便りが届き始めました。
どこかお花見に出かけようと思っ
ています。
加藤和子(相模原)



加藤武久さんのフォト俳句

絵手紙



奥津弘久さんの作品

〈訂正とお詫び〉

3月16日(水)に予定されていた「第2回健康教室 高齢期の健康な過ごし方」は、まん延防止等重点措置が3月21日まで延期となったため、中止とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の様子を見ながら、9月7日(水)に改めて行う予定です。

こだま俳壇(4月句会)

- あるがまま生きて独りの花見かな 三井 光子
花冷えや人道回廊に狙撃兵 田中 一男
長生きの桜吹雪を浴びにゆく 白井保次郎
花過ぎてひと息つきし長寿かな 高橋 和江
春の夜や映画「ひまわり」もう一度 松尾佐知子
三味響く芸者小道の花の雨 角田 英昭
自販機に「冷たい」が増え夏近し 中野みどり
花の雨体に浴びて走りけり 瀧澤 正行
酒呑みの羅漢の盃に花の雨 友井 眞言
手の平に花の雨うけ傘さしぬ 島田多嘉子
菜の花の中州近くや川鶴群れ 柳瀬 節子
花の雨薄墨色の長屋門 本山 文子
花冷えに友との酒宴終わりなし 並木まり子
花の雨川面に降りて竿をさし 後藤 貞夫
竹藪や黄味がかりきて夏近し 中村 桂子
満開の桜の下の老夫婦 常世田芳子
花の雨友の入院知らせあり 小室 豊子
春の山ピンクのジャンパー色そえて 小林 久子
花冷や吉野葛溶き湯呑吹く 木村 武子
百歳が戦争叱る花ふぶき 講師 太田 士男